

【警告】

コンタクトレンズを適切に使用しても以下のような目の障害が起きる危険性がありますので、定期的に眼科医の検査をお受けください(レンズの種類、使用期間、目の状態などにより個人差があります)。

- 長期間の使用により、角膜内皮細胞の減少が早まったり、巨大乳頭結膜炎などが発症する可能性
- 角膜への酸素供給が低下することにより、角膜浮腫や角膜血管新生などが発症する可能性
- その他、角膜潰瘍、角膜炎、角膜浸潤、角膜びらん、結膜炎などが発症する可能性

---【特にご注意ください】---

- コンタクトレンズをご使用前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。
- 添付文書は大切に保管してください。

コンタクトレンズは目に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる場合があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に装着するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

1) 装着時間を正しく守ること

レンズの装着時間には個人差があります。眼科医から指示された装着時間を必ず守り、寝る前には必ずはずしてください。

2) 取扱方法を守り、正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながる場合があります。レンズとともにケア用品(特にレンズ保存ケース)を常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

3) 定期検査を必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装着していても目やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

4) 少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること

レンズをつける前に、毎日、ご自分で目ヤニや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら装着を中止し、すぐに眼科医の検査を受けてください。

5) 破損などの不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装着前に、レンズに破損などの不具合がないか必ず確認し、不具合が認められたレンズは絶対に装着しないでください。異常のあるレンズを使用すると眼障害につながる場合があります。

6) 装着中にレンズが破損したら、直ちに眼科医の指示に従うこと

万一、レンズが装着中に破損した場合は直ちに装着を中止し、異物感や痛みなどの自覚症状がなくても、速やかに眼科医の検査を受けてください。装着中にレンズが破損した場合、眼障害につながる場合があります。

コンタクトレンズの装着に適していない例(装着禁忌例)

【禁忌-レンズ装着に適していない例】

コンタクトレンズを使用できない病気や環境があります。装着を開始する前に必ず眼科医に相談し、これらの病気の有無や環境について確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装着に適していません。

<医学的禁忌例>

- ・前眼部の急性および亜急性炎症・眼感染症・ぶどう膜炎・角膜知覚減退症
- ・眼瞼異常・角膜上皮欠損・涙液分泌量の不足(ドライアイ)・レンズ装着に影響を与える程度のアレルギー疾患・その他医師が装着不適と判断した疾患

<生活習慣的禁忌例>

- ・医師の指示に従うことができない場合・レンズを適切に使用できない場合
- ・定期検査を受けられない場合・必要な衛生管理を行えない場合・極度に神経質でコンタクトレンズの装着に向かない場合

<生活環境的禁忌例>

- ・常時、乾燥した生活環境にいる場合
- ・粉塵、薬品などが目に入りやすい生活環境にいる場合

【形状・構造及び原理等】\*

<レンズ素材、保存液の主成分>

ソフトコンタクトレンズ分類: グループ I

構成モノマー: HEMA EDMA

着色剤: フタロシアニン系着色剤・アゾ系着色剤・キノリン系着色剤

保存液の主成分: 塩化ナトリウム

【使用目的・効能又は効果】\* 視力補正用レンズ・終日装着

【操作方法又は使用方法等】\*

<レンズを取り扱う前に>

鏡をみて自分の目に目ヤニや充血がないか確認します。爪は短く切り、先端を丸くならかにしておきます。手や指を石けんでよく洗い、石けんが残らないようにすすぎます。

<レンズと包装や容器の確認>

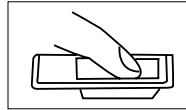
開封前にレンズと包装や容器に異常がないか確かめてください。異常がある場合には開封しないで、裏面【お問い合わせ・ご相談】までお問い合わせください。

<レンズの取り出し>

容器を持ち数回振ってください。レンズが容器の底に張り付いている場合があります。容器とホイルをしっかりと持ち、一旦ホイルを真上に引き上げるように少しはがしてから、保存液が飛び散らないようにゆっくり残りをはがします。この時ホイルや容器のふちで手を切らないように注意してください。(注: レンズがラベルの裏側についていることがあるので確認してください。)

<レンズの取り出し方>

※右利きの場合



1. 右手の人差し指のほらにレンズを吸いつけるようにして、レンズを容器から取り出します。



2. 左手の人差し指と親指のほらの上に、レンズの凹面が上になるようにしてのせます。



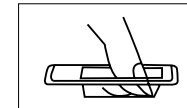
3. 最後に右手の人差し指の上にレンズの凹面を上にしてのせます。

※容器からレンズを取り出す際の注意

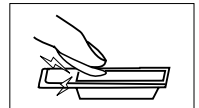
レンズの破損につながりますので、十分にご注意ください。



※レンズを二つ折りにしないでください。



※レンズに爪をたてないでください。

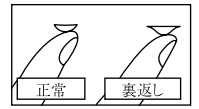


※レンズ容器のふちでレンズをキズつけないでください。

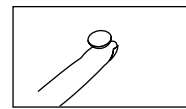
<レンズの確認>

・レンズに異物の付着、キズ、破損、汚れ、変形、変色などがないか確認してください。このようなレンズを使用すると、目に障害をあたえる原因になることがあります。・レンズの表裏、左右を確認してください。レンズの表裏、左右を間違えると適切に視力が得られないばかりか違和感があり、レンズがはずれやすくなります。※レンズを取り扱うときはいつも決まった側から行うように習慣づけると間違いが少なくなります。

・輸送中の振動などによりレンズの両端がくっつき、丸まっている場合があります。その場合は、手のひらにパックの中の液をためて、レンズを指のほらでそっと押しすべらせる動作を何回か繰り返してください。どうしてもはがれない場合は裏面【お問い合わせ・ご相談】にご連絡ください。



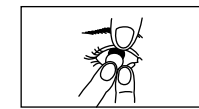
<レンズの付け方>



1. レンズを利き手の人差し指の先にのせ、レンズをチェックします。※手と指の水分をよく拭き取っておくとレンズをつけやすくなります。



2. 同じ手の中指で下まぶたを開き、まばたきをしないようにしっかりと引き下げます。※この時まぶたも一緒に押さえるとスムーズに開きます。



3. もう一方の手の中指(または人差し指)で上まぶたを開き、ふちをしっかりと引き上げます。



4. 両目でまっすぐ前を見たまま、レンズを黒目の上に静かにのせます。※この時決して黒目にレンズを押しつけないでください。目を傷つける場合があります。



5. レンズが黒目に正しくのっていることを確認し、ゆっくりと指をはなします。※この時急に指をはなしたり、強くまばたきをするするとレンズがはずれる場合があります。



6. 2-3回軽くまばたきをします。

<レンズのはずし方>



1. 鏡をよく見て、レンズの位置を確認してから、黒目が上方に向くように、鏡を見上げます。



2. 利き手の中指で下まぶたを軽く引き下げます。



3. そのままの状態ですり手の親指と人差し指でレンズを軽くつまみ、レンズをはずします。

※レンズをつまむときに指先やツメが直接、目にふれないようにしてください。目をキズつける場合があります。

※レンズをつまむ際には、あまり力を入れ過ぎないように注意してください。(強い力がかかるとレンズが破損して目に障害を与える可能性があります。)

※レンズをはずす際に、目が乾燥している場合には眼科医に従いソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼してから、はずすようにしてください。

<装用スケジュール> 眼科医に指示された装用スケジュールを守り、下記例のように少しずつ慣らしてください。

1日目：6時間以下→ 2日目：8時間以下→ 3日目：10時間以下  
4～6日目：終日装用→7日目：検査

1. 装用時間には個人差があるため、必ず眼科医の指示に従ってください。
2. 眼科医の指示された時間を守り、寝る前に必ずレンズをはずしてください。

<レンズのケア>

1. レンズを目からはずした際は必ずレンズのケアを行ってください。
2. 煮沸消毒とグループ1レンズ用コールド消毒の両方が可能です。
3. ケア用品の選択、ケア方法については眼科医にご相談ください。

<装用を一時中断した場合>

1. 装用を中断し、再開する場合、6時間以下から開始し、徐々に慣らしてください。少しでも異常を感じた場合は、眼科医の検査を受けてください。
2. 1カ月以上装用を中断した場合は必ず眼科医の検査を受け指示に従ってください。

<定期検査>

毎日快適にレンズを使用している、気づかないうちにレンズにキズや汚れがついていたり、目に障害が起きている場合があります。目の健康を保つために3カ月ごと、または眼科医の指示に従って必ず定期検査を受け、眼科医より装用について指示を受けた場合は、その指示に従ってください。

【使用上の注意】

<眼科医の指示に従って守っていただきたいこと>

1. コンタクトレンズの装用・使用に関しては眼科医の指示に従ってください。
2. 装用時間とスケジュールを守り、調子が良くても3ヶ月に一度は必ず定期検査を受けてください。
3. レンズ装用中は眼科医から指示された目薬以外は使用しないでください。
4. 目やレンズに少しでも異常を感じたら、定期検査以外でも直ちに眼科医の検査を受けてください。眼科医の検査を受けずに放置すると、眼障害につながるおそれがあります。
5. 乾燥感が強い場合は、眼科医に相談して指示に従い、ソフトコンタクトレンズ用の目薬を使用してください。
6. アレルギー疾患を有する場合には、コンタクトレンズの装用が適さない場合がありますので、必ず眼科医に相談し、指示を受けてください。
7. 高齢の方や小児でレンズの取り扱いが難しい場合は眼科医に相談し、指示を受けてください。
8. 妊産婦は体調や目の状態の変化によりレンズの装用に影響がでる場合がありますので、必ず眼科医に相談し、指示を受けてください。
9. 洗剤や化学薬品などが目に入った場合は、直ちにレンズをはずして水道水で目を洗い流してから、レンズは装用せずに眼科医の診察を受けてください。

<正しく安全にレンズをお使いいただくために必ず守っていただきたいこと>

1. 体調が悪いときに無理な装用はしないでください。
2. 水泳の際はレンズをはずしてください。
3. ヘアスプレー類は目を閉じた状態で使用してください。
4. 化粧品、薬品、インク、染料、油類などをレンズにつけないように注意してください。
5. 有害ガスや刺激性のある蒸気が存在する場所では、レンズを使用しないでください。
6. 他人のレンズを使用しないでください。また、自分のレンズを他人に貸すこともできません。
7. レンズをなめたり、口の中に入れないでください。
8. レンズ装用中は、目をこすらないでください。
9. 目の不調や環境の変化などによってコンタクトレンズが装用できない場合に備えて、目にあったメガネをいつも用意してください。
10. 破損や紛失などに備えて、外出や旅行の際には予備のレンズを携帯してください。
11. レンズに目が慣れるまでは、車の運転や機械類の操作はしないでください。
12. 車の運転中レンズがずれたり、はずれたりしたとき、目に痛みや視力に異常を感じた場合は安全を確認のうえ、運転を中止してください。
13. 本品の加工・改造は絶対に行わないでください。

<レンズをケアするときに必ず守っていただきたいこと>

1. レンズをはずしたときは、眼科医に指示されたケアを行ってください。
2. ケア用品の取扱説明書をよく読んで、記載された正しいケア手順と方法を守ってください。
3. ケア用品の使用により、レンズまたは目に異常を感じた場合は、直ちに装用を中止して眼科医に相談してください。

<レンズの破損についてのご注意>

1. レンズに強い力を与えたり、紙や布、硬いものでこすらないでください。
2. レンズに異物の付着、キズ、破損、汚れ、変形、変色などの異常がないか確認してください。
3. レンズを容器から取り出す際には、容器のふちや爪などでレンズを傷つけないように気をつけてください。またレンズを扱ったり、ケアを行う際には、折り曲げたり、爪をたてたりしないように気をつけてください。レンズの破損につながります。
4. 保存液からレンズを出したままにすると、レンズは乾燥しますのでご注意ください。一旦乾燥したレンズは使用しないでください。
5. レンズケースにしまうとき、レンズをはさまないように気をつけてください。
6. レンズ装用中に目を強くこすらないように気をつけてください。強い力がかかるとレンズが破損してしまうことがあります。
7. 破損したレンズは絶対に使用しないでください。破損のあるレンズを使用すると眼障害につながる場合があります。異物感や痛みを感じたら直ちにレンズの装用を中止してください。症状が継続する場合には、直ちに眼科医の検査を受けてください。
8. レンズの品質管理には万全を期しておりますが、万一未使用レンズに不具合が認められた場合、そのレンズは決して使用せず処方した眼科医、購入施設、または下記の【お問い合わせ・ご相談】までお問い合わせください。不具合が認められるレンズにつきましては、新しいレンズと交換させていただきます。

<装用中の症状と対処法>

異常を感じたらすぐに眼科医の検査を受けることが原則ですが、自分で異常の原因を知っておくことも大切です。次のような症状と対処法を理解し、レンズと目の状態を常に自分でチェックしてください。

【レンズの装用を開始した直後】

レンズに慣れるまでは、軽い異物感、軽い充血、ものが見えにくい、目のかゆみなどが起こることがあります。このような症状は、個人差もありますが、レンズに慣れるに従って（1週間程度で）解消される場合が殆どです。しかし、このような症状が強かったり長引く場合は、無理をせず早めに眼科医の検査を受けてください。

【装用に慣れてから】

レンズの装用に慣れてから、次のような症状がある場合は表の対処方法を参考にしてください。それでもなお改善されない場合は、装用を中止して直ちに眼科医の検査を受けてください。

	症状	原因	対処方法
装用直後	レンズをつけてすぐに異物感を感じる	レンズの裏表・左右が逆	レンズをはずして確認し、ソフトコンタクトレンズ用保存液ですすいでつけなおす。
		目の何らかの異常	眼科医の検査を受け、指示に従う。
	レンズをつけてすぐに痛みがあり、涙が出て充血する	レンズの汚れ	こすり洗い・すすぎ洗い・消毒を行う。改善しない場合は新しいレンズに取り替える。
		ゴミ、まつ毛の付着	レンズをはずして確認し、ソフトコンタクトレンズ用保存液でこすり洗い・すすぎ洗いしてつけなおす
装用中	異物感がある	レンズのキズ・破損	眼科医の検査を受け、指示に従う。
		目の何らかの異常	眼科医の検査を受け、指示に従う。
	視界がぼやけて見える	レンズの汚れ	こすり洗い・すすぎ洗い・消毒を行う。改善しない場合は新しいレンズに取り替える。
		レンズの乾燥	ソフトコンタクト用保存液でこすり洗い・すすぎ洗います。改善しない場合は眼科医の指示のもと、人工涙液を使用する。
		視力の低下	眼科医の検査を受け、指示に従う。
	痛みがあり、涙が出て、充血している	目の何らかの異常	眼科医の検査を受け、指示に従う。
		目の中のゴミ	レンズをはずし、目のゴミをとり、ソフトコンタクトレンズ用保存液でこすり洗い・すすぎ洗います。
		体調不良（寝不足・疲労・風邪など）	レンズをはずし、様子を見る。（装用時間を短くする）
		レンズの乾燥	ソフトコンタクト用保存液でこすり洗い・すすぎ洗います。改善しない場合は眼科医の指示のもと、人工涙液を使用する。
		レンズの裏表・左右が逆	レンズをはずして確認し、ソフトコンタクトレンズ用保存液でこすり洗い・すすぎ洗いしてつけなおす
レンズのキズ・破損		眼科医の検査を受け、指示に従う。	
いつも目ヤニが出る	目の何らかの異常	眼科医の検査を受け、指示に従う。	
レンズをつけるとしみるかゆみがある	目の何らかの異常	眼科医の検査を受け、指示に従う。	

包装に記載されているマークについて

マーク	解説	マーク	解説
■	添付文書をお読みください	DIA	直径
EXP	使用期限	BC	ベースカーブ
LOT	製造番号	P	頂点屈折力（ディオプリー）
★	高圧蒸気滅菌済み	🏠	医家向医療機器
📄	容器包装識別表示：紙	📦	容器包装識別表示：プラスチック

【保管方法及び使用期限】

保管方法：室温保存（直射日光および高温になる場所は避けてください。）  
 使用期限：レンズ容器（1次包装）と箱（2次包装）に記載。  
 表示された使用期限を過ぎた製品は絶対に使用しないでください。  
 使用期限はレンズの容器や箱に“EXP”として記載されています。  
 例：“EXP 2013/12”は2013年12月までの使用期限を示しています。

【包装】 1箱3枚入り

【外国特例承認取得者及び国名】 Innova Vision Inc. ・台湾  
 URL: <http://www.innovavision.com.tw>

【選任製造販売業者の名称、住所】 Innova Vision 株式会社  
 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-9-2  
 TEL: 03-3863-0791

【販売元】

株式会社シンシア  
 東京都中央区日本橋箱崎町 30-1  
 TEL: 03-5695-7400

【お問い合わせ・ご相談】

●ご購入いただいた販売店  
 ●処方を受けたクリニック  
 ●株式会社シンシアお客様相談窓口  
 フリーダイヤル：0120-354-078  
 受付時間：10：00～18：00（月～土曜日 祝祭日を除く）